

週間漁海況情報—第16号

平成25年4月22日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

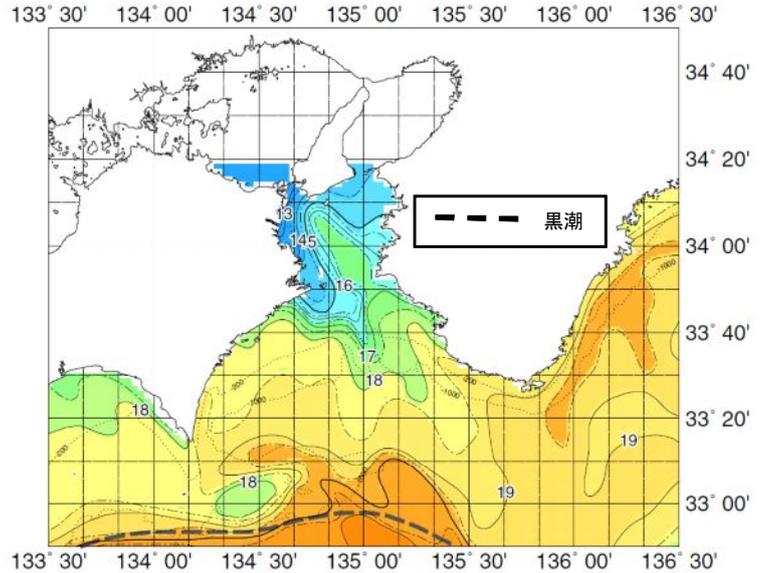
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H25.4.22）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖でかなり離岸している。

黒潮本流の表面水温は、20～21℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で12℃台、紀伊水道で14～16℃台、海部沿岸で17～19℃台である。紀伊水道外域の海部沿岸は、概ね18℃となっている。

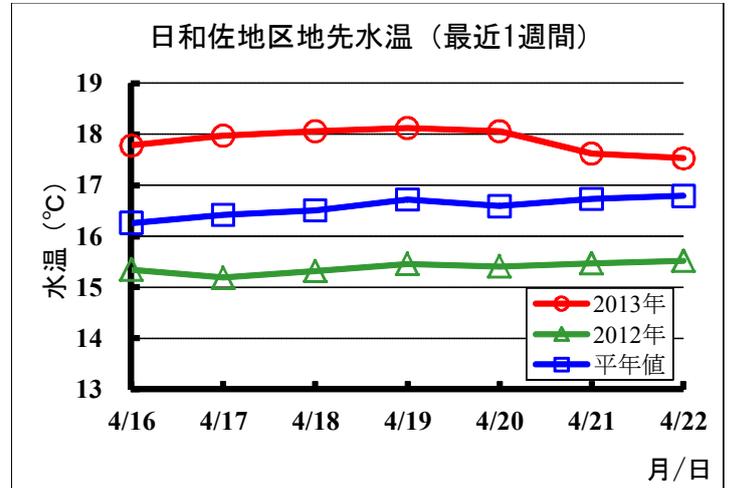
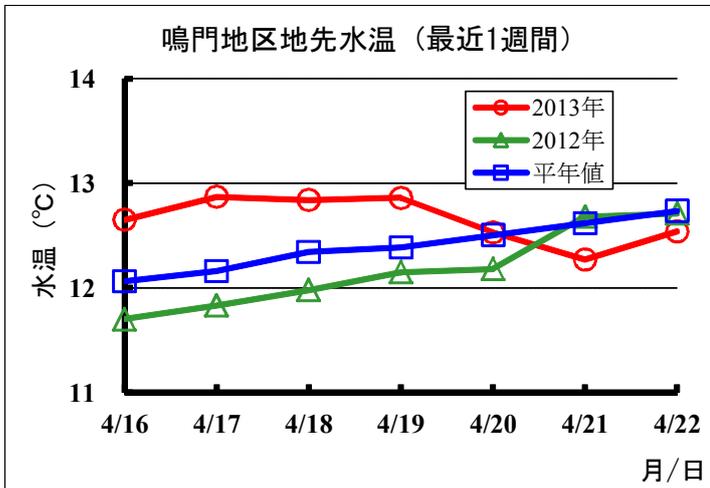


紀伊水道海区観測結果

観測日		水温					塩分				
		表層	10m	20m	30m	50m	表層	10m	20m	30m	50m
4/15, 16, 17	今年値	15.0	14.9	15.4	15.9	16.0	33.1	33.3	33.6	33.9	34.2
	平年偏差	1.6	1.7	1.6	1.9	1.6	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
	前年偏差	0.9	1.3	1.4	1.4	-0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1

漁業調査船「とくしま」で4月15、16及び17日に行った紀伊水道海区の海洋観測では、表層～50m層水温が「高め」の14.9～16.0℃であった。

地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並」～「やや高め」の12.3～12.9℃、日和佐地区は「やや高め」～「高め」の17.5～18.1℃、牟岐地区は「やや高め」～「かなり高め」の17.3～19.4℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、中主体にアマダイが0.2トン（1日1隻あたり14kg）水揚げされた。

建網：海部沿岸で、大主体にカワハギが0.2トン（同5kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、中主体にマアジが3.1トン（同48kg）、小主体にマルアジが0.8トン（同28kg）、カタクチイワシが8.8トン（同118kg）、キビナゴが1.0トン（同30kg）アオリイカが0.7トン（同7kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、特大主体にマアジが4.9トン（同615kg）、小小主体にマルアジが2.2トン（同273kg）、小主体にゴマサバが1.2トン（同147kg）、カタクチイワシ主体にイワシ類が1.5トン（同193kg）、ブリが4.5トン（同564kg）、メジロが31.6トン（同3946kg）、ハマチが1.2トン（同153kg）、中主体にヒラマサが0.3トン（同43kg）、大主体にイシダイが0.4トン（同47kg）、中主体にクロダイが0.3トン（同32kg）、小主体にシイラが0.4トン（同55kg）、大主体にアオリイカが0.3トン（同33kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、中主体にカツオが6.9トン（同53kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが0.5トン（同13kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 4月15日～4月21日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アマダイ	15	208	14	中主体
建網		カワハギ	46	214	5	大主体
小型定置網		マアジ	64	3,101	48	中主体
		マルアジ	29	817	28	小主体
		カタクチイワシ	75	8,825	118	
		キビナゴ	32	976	30	
		アオリイカ	102	678	7	
		大型定置網	マアジ	8	4,921	615
マルアジ			8	2,186	273	小小主体
ゴマサバ			8	1,174	147	小主体
イワシ類			8	1,545	193	カタクチイワシ主体
ブリ			8	4,511	564	
メジロ			8	31,567	3,946	
ハマチ			8	1,226	153	
ヒラマサ			8	341	43	中主体
イシダイ			8	372	47	大主体
クロダイ			8	252	32	中主体
シイラ			8	437	55	小主体
アオリイカ			8	266	33	大主体
釣り				カツオ	130	6,877
パッチ網	紀伊水道	シラス	40	500	13	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の4月16日～4月22日には、海部沿岸では、建網で、ブリが0.4トン、小型定置網で、キビナゴが0.4トン、サバ類が小小主体に21.6トン、メジロが4.3トン、大型定置網で、中主体にイシダイが0.3トン、中主体にクロダイが1.2トン、ブリが1.3トン、メジロが1.6トン、中主体にマダイが0.5トン、釣りで、中主体にカツオが4.7トン、マサバが4.3トン、メジロが14.8トン、パッチ網で、シラスが119.5トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」～「接岸」、潮岬沖において「かなり離岸」～「やや離岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並み」～「やや低め」の12℃台、日和佐地先で「平年並」～「やや高め」の17～19℃台で推移する見込み。